

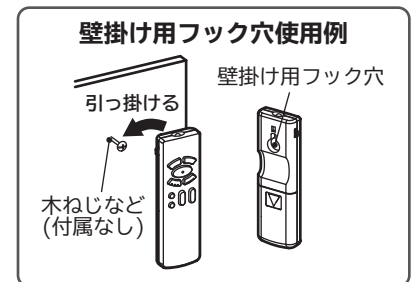
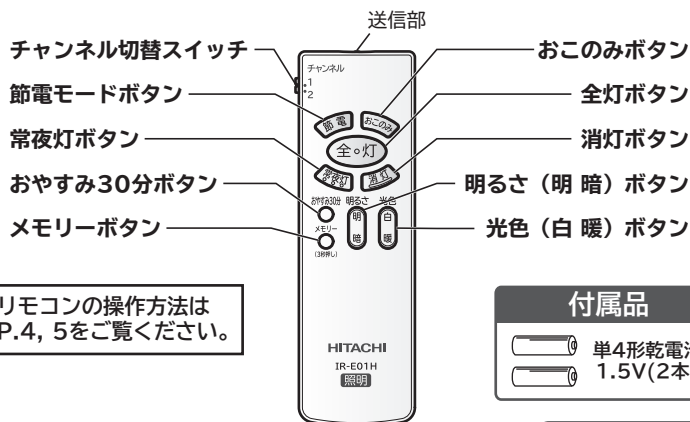
使用上のご注意

- 山間部や鉄筋建物など、電波の弱い地域では、ラジオや屋内アンテナ使用のテレビに影響する場合があります。このような場合は、ラジオや屋内アンテナを器具から離してお使いください。
- 器具の近くでは、ラジオやテレビに雑音が入ったり、他の家電品の赤外線リモコンが作動しない場合があります。このような場合は、ラジオやテレビ、他の家電品を器具から離してお使いください。
- 短い停電や電圧の低下などにより、消灯状態から点灯する場合があります。長時間、器具を使用しない場合は電源（壁スイッチまたはブレーカ）を切ることをおすすめします。ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。
- LED光源は本体に組み込みのため、お客様自身での交換はできません。
- LED素子は製造上、発光色、明るさにバラツキがあります。そのため、同一型式商品でも商品ごとに発光色、明るさが異なる、またはムラが生じる場合があります。
- 天井の材質や構造によって、器具取り付け天井面が変色する場合があります。
- 温泉地などの腐食性ガスが発生する場所での使用はお避けください。光学特性などに不具合が発生することがあります。
- 器具部品の伸縮により、点灯中や消灯直後にさしみ音が発生する場合があります。
- カメラまたはビデオカメラで器具を撮影すると、モニターや撮影画像に線や模様が入ることがあります。

リモコンの準備

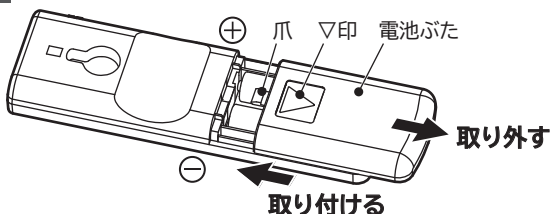
リモコン（型式：IR-E01H/補修用部品番号：FU-542）

ボタンを押すとリモコン送信部からの信号が器具に入り、電子音が鳴り受信をお知らせします。
リモコン裏面の壁掛け用フック穴を使用して、壁などにリモコンを引っ掛けることができます。



乾電池の入れかた

- 1 リモコン裏面の電池ぶたの▽印を押しながら、電池ぶたをずらして取り外す
- 2 単4形乾電池を⊕ ⊖の表示に合わせて入れる
- 3 リモコンに電池ぶたをかぶせ、▽印を押しながら、リモコンに爪が入って「パチン」と音がするまでずらして取り付ける



乾電池について

- 乾電池を誤って使うと液漏れや破裂の危険があります。乾電池の注意文をよく読み、注意してご使用ください。
- ・電池の液が目に入った場合は、すぐに水道水などのきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けること
- ・発熱、液漏れ、破裂、機器破損のおそれがあるので、⊕ ⊖ 逆接続、ショート、分解、新旧電池や銘柄の違う電池・異種電池の混用、充電、加熱、火に入れるなどしないこと
- ・電池の液が、皮膚や衣類に付着した場合には水で洗い流すこと
- 液漏れによる故障の原因となるので、長時間使用しない場合は乾電池を取り外しておいてください。
- リモコンの乾電池は、約半年を目安に交換してください。
- 付属の乾電池は、リモコン操作確認用として同梱していますので、使える期間が短い場合があります。
- 使用済み乾電池はリサイクル対象外です。ショートすると危険なため、電極にセロハンテープなどを貼り、お住まいの自治体で決められた方法に従って処分してください。

リモコン使用上のご注意

- 壁スイッチはONにしてご使用ください。



壁スイッチはONにする

- リモコンは、器具に向けて操作してください。



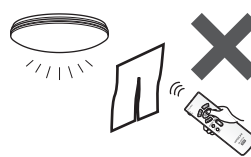
器具に向けて操作する

- 周囲の環境条件、天井・壁・床の色や材質などにより、リモコンが操作しにくい場合があります。その場合は、器具に近づけてリモコン操作をしてください。



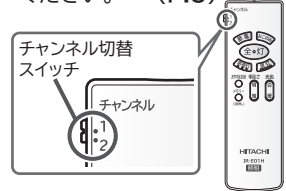
器具に近づけて操作する

- リモコンと器具の間に遮蔽物があると器具が作動しない場合があります。その場合は、遮蔽物を避けてリモコン操作をしてください。



遮蔽物を避ける

- 器具とリモコンのチャンネルを合わせて操作してください。「チャンネルの設定」を参照ください。→ (P.5)



チャンネルを合わせる

- 温度が高くなる物の上や湿気の多い場所でのご使用や、水にぬらしたりしないでください。また、リモコンを落としたり衝撃を与えたりしないでください。変形や故障の原因となります。

各部のなまえ

●右図を参照して、各部品をお確かめください。

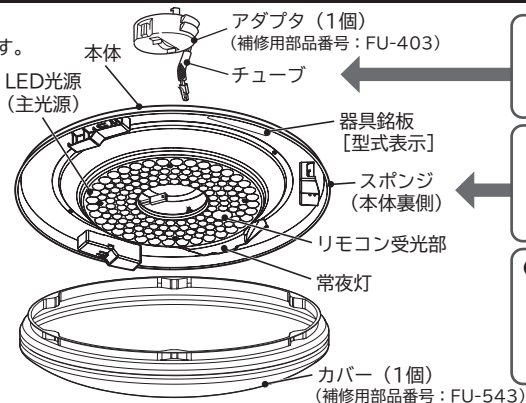
※図は取り扱い方法を説明するための、簡略図になっています。

●下図の配線器具が天井に付いている場合、電気工事なしで取り付けられます。
※配線器具は付属していません。



取り付けてはいけない配線器具 → (P.1)

「△ 警告 このような配線器具には取り付けない」



●チューブを外さない
※万一、コネクタ部から発火した際の延焼防止です。



●本体裏側のスポンジを剥がさない
※器具のガタつきや回転防止のためです。

●LEDの付いていないレンズの数と位置は、機種によって異なります。また、数量などLEDの仕様は予告なく変更になる場合があります。

開梱後の器具の取り出しかた

※器具は包装用部品に固定されていますので、下記に従い取り外してください。無理に外すと器具部品の破損などの原因となります。

1 カバーを本体から外す

カバーを左に回し、ゆっくりと持ち上げる

※無理に外すとカバー破損のおそれがあります。

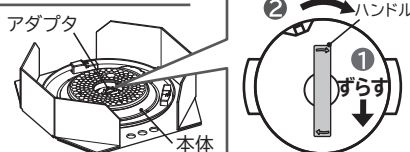


2 本体を外す

① アダプタのハンドルを「解除」の位置にずらす

② アダプタをつかみ、ハンドルを右に回しアダプタと本体を取り出す

※アダプタが奥に入って取り出せないときは、本体を取り出したあと包装用部品の裏側から取り出してください。



ご注意

この部品は、包装用部品です。器具の取り付けには使用しません。
※廃棄するときは、プラスチックごみとして分別廃棄してください。



器具の取り付けかた

1 電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る

※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。

※複数台の器具を取り付ける場合は、取り付けとチャンネル設定を1台ずつ行くとチャンネル設定を確実に行えます。→ (P.5)



●器具の取り付けの際は、電源を切る
※電源を切らないと、感電の原因となります。
また、コネクタ差し込み時にLEDが点灯して目を痛めるおそれがあります。

2 配線器具にアダプタを取り付ける

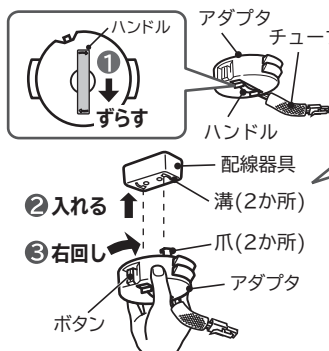
① アダプタのハンドルが「解除」の位置になっていることを確認する
なっていない場合は、「解除」の位置にずらす

② 配線器具(角形引掛シーリングなど)の溝にアダプタの爪を入れる

※必ず同梱しているアダプタを使用してください。

③ ボタンを押さずに右方向にいっぱいまで回す

●ロックが掛かり固定されます。



●チューブを外さない
※万一、コネクタ部から発火した際の延焼防止です。



●取り付け後、ボタンを押さずに左方向に回し、外れないことを確認する
※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。

アダプタを取り外す場合は

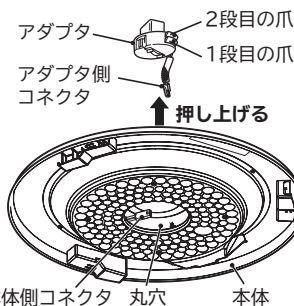
●ボタンを押しながら、① 押す ② 左回し ③ 外す



3 アダプタに本体を取り付ける

① 本体を両手で持ち、アダプタ側コネクタを本体の丸穴に通しながら、アダプタの1段目の爪または2段目の爪(両側2か所)に掛かるまで押し上げる

② 本体が軽い力で回転しないこと、極端なガタつきがないことを確認する

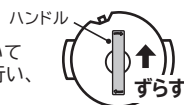


●本体に掛かる爪の位置が配線器具で変わります。下図を参照し、適切な爪(両側2か所)が本体に掛かっていることを確認する
※取り付けが不完全な場合、器具の落下によるけがの原因となります。



4 ハンドルを「ロック」の位置にずらす

※本体が正しく取り付けられていないと、ハンドルが傾いて「ロック」の位置にずらせません。再度、手順③を行い、ハンドルが傾いていないことを確認してください。

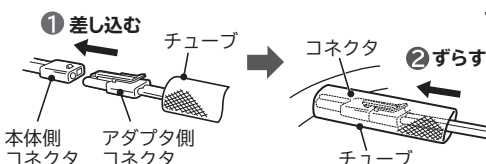


●コネクタや電線を無理に引っ張らない
※電線が断線し、感電、故障の原因となります。

5 コネクタを接続する

① アダプタ側コネクタと本体側コネクタを確実に差し込む

② チューブをずらしてコネクタを覆う



●アダプタのチューブをずらしてコネクタを確実に覆う
※万一、コネクタ部から発火した際の延焼防止です。

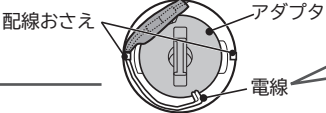
6

アダプタ側の電線を、配線おさえ（2か所のうちどちらか）に引っ掛ける

7

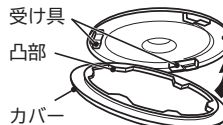
カバーを本体に取り付ける

- ① 本体の受け具横にカバーの凸部を合わせ、本体内部側にカバーを当てて、カバーを持ち上げる
- ② カバーを押し上げながら、「カチン」と音がして止まるまで右に回す
※「カチン」と音がしたあと、カバーを無理に回さないでください。カバーを無理に回すと、アダプタや本体の電線が切れたり、本体裏側のスポンジがちぎれる場合があります。
- ③ カバーを軽く下に引っ張り外れないこと、傾いて取り付けしていないことを確認する



●コネクタや電線を無理に引っ張らない
※電線が断線し、感電、故障の原因となります。

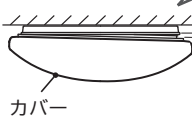
●カバーを正しく取り付けただ後は、カバーを無理に回さない
※器具の破損、落下によるけがの原因となります。



① 持ち上げる



② 右に回す



③ 確認する
カバーの隙間が均一になっていること

点灯・消灯のしかた

リモコンで操作する 壁スイッチをONにして、リモコンを器具に向けて操作する

点灯するとき

全・灯 おこのみ 常夜灯 ボタンのいずれかを押す

消灯するとき

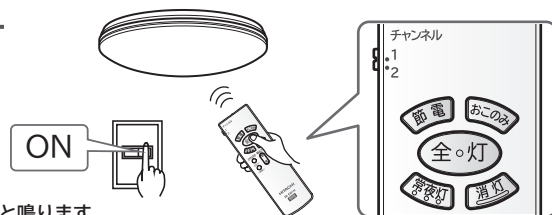
消灯 ボタンを押す

器具の電子音を消すとき（解除も同一操作）

点灯状態の場合は、リモコンで消灯してから次の操作をしてください。

●壁スイッチがONの状態です。消灯ボタンを約10秒間長押ししてください。

電子音が「ピピピッ」と鳴り、消音モードになります。解除の場合は、電子音が「ピーツ」と鳴ります。



壁スイッチで操作する 点灯するとき壁スイッチをONにする／消灯するとき壁スイッチをOFFにする

リモコンで消灯した状態から点灯するとき

壁スイッチをOFF→ONする

●壁スイッチをONにすると、壁スイッチをOFFにする前、またはリモコンで消灯する前の状態で点灯します。（壁スイッチ点灯機能）

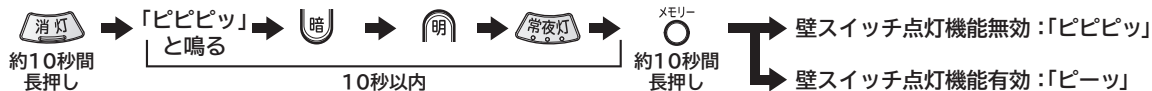
※リモコンで消灯した状態から停電があった場合も、リモコンで消灯する前の状態で点灯します。

長時間ご使用にならないときは、電源（壁スイッチまたはブレーカ）を切るか、壁スイッチ点灯機能を無効にしてください。

壁スイッチ点灯機能を無効にするとき（有効も同一操作）

※壁スイッチ点灯機能を無効にすると、壁スイッチをOFF→ONしても消灯状態から切り替わりません。リモコンで点灯してください。

次の操作をすることで壁スイッチ点灯機能を無効にすることができます。操作のつど、有効と無効を切り替えられます。



※メモリーボタンを押して始めてから約3秒後に「ピッ」または「ピピッ」と鳴りますが、10秒間長押しを続けてください。

10秒後に上記の電子音が鳴らない場合は、操作をやり直してください。

連続調色 主光源の光色を昼光色から電球色まで調節できます。



連続調光 主光源・常夜灯の明るさを100%（明）～約5%（暗）の範囲で調節できます。



おこのみ 調色・調光したお好みのあかりを「おこのみ」ボタンに登録できます。

登録のしかた ※常夜灯は「おこのみ」ボタンに登録できません。

1 光色、明るさボタンでお好みの点灯状態にする

2 メモリーボタンを約3秒間長押しし、点灯状態を登録する（3秒押し）

●器具から「ピッ」と電子音が鳴れば登録完了です。

登録した点灯状態を工場出荷時に戻すとき

「おこのみ」ボタンを約3秒間長押しする

●器具から「ピッ」と電子音が鳴り、工場出荷時に戻ります。

※工場出荷時は全灯時の約半分の明るさで点灯します。

節電モード 現在の点灯状態から明るさを抑えて約30%消費電力を節電します。

「節電」ボタンを押す

※2回目以降は電子音が「ピピッ」と鳴り、さらに節電はしません。
※現在の明るさが、調光下限値付近の明るさの場合、節電される割合は減少します。

おやすみ30分 ボタンを押してから、30分後に自動消灯します。

おやすみ30分

○ ボタンを押す ●電子音が「ピッ」と鳴り設定されます。

おやすみ30分

設定後、再度 ○ ボタンを押すと解除されます。

●電子音が「ピピッ」と鳴り解除されます。

チャンネルの設定

リモコンのチャンネル設定を変えることで、1台のリモコンで2台の器具を別々に操作することができます。

1台のリモコンで1台の器具を操作する場合 ※出荷時は、器具のチャンネルは「1」に設定しています。

リモコンのチャンネル切替スイッチが「1」になっていることを確認し、器具に向けて操作してください。

1台のリモコンで2台の器具を別々に操作する場合 ※1台目の器具がチャンネル「1」の場合、2台目はチャンネル「2」に設定してください。

1 チャンネル設定を行う2台目の器具のみ壁スイッチをONにする

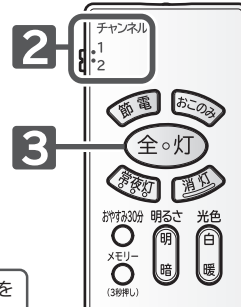
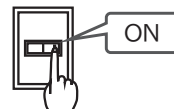
※1台目と2台目の器具が同じ壁スイッチの場合は1台目のコネクタを外してください。
下記の「器具の取り外しかた」の4 コネクタを外す」をご参照ください。

2 リモコンのチャンネル切替スイッチを「2」にする



3 2台目の器具にリモコンを向け、**全灯** ボタンを約3秒間長押しする

●器具から電子音が「ピピッ」と鳴り、設定の完了をお知らせします。
リモコンを各々の器具に向けて操作し、正しく設定されていることを確認ください。



ご注意 ●リモコンは、他の日立リモコン照明器具に対しても操作できますが、チャンネルの設定のしかたは、その商品の取扱説明書をご参照ください。また、機種によってはリモコンで操作できる機能が制限される場合があります。

全チャンネル有効モードにする場合/チャンネル固定モードにする場合

次の操作をすることで「チャンネル切替有効モード」（工場出荷状態）を「全チャンネル有効モード」「チャンネル固定モード」に切り替えることができます。操作のつど、下図の①→②→③→①→②→③と切り替わります。



※ ●ボタンを押し始めてから約3秒後に「ピッ」または「ピピッ」と鳴りますが、10秒間長押しを続けてください。
10秒後に上記の電子音が鳴らない場合は、操作をやり直してください。

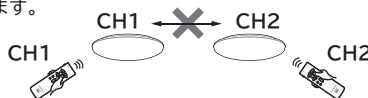
①全チャンネル有効モード

1台の器具をリモコンのチャンネルに関わらず操作可能とするモードです。
リモコンのチャンネルを誤って変えてしまってもチャンネルを気にせず操作することができます。



②チャンネル固定モード

器具のチャンネルを固定し、不意なチャンネル切替操作で反応しないようにするモードです。器具のチャンネルを設定したあと、全灯ボタンを長押ししてもチャンネルが切り替わらないようにできます。



③チャンネル切替有効モード（工場出荷状態）

リモコンのチャンネルを切り替えたあと、全灯ボタンを約3秒間長押しすると、器具のチャンネルが切り替わるモードです。器具のチャンネルを切り替える際はこのモードにしてください。

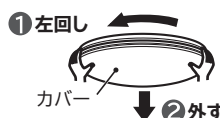


器具の取り外しかた

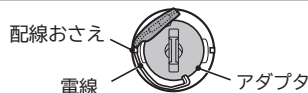
1 電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る

※ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。

2 カバーを左に回して取り外す



3 アダプタ側の電線を、配線おさえから取り外す

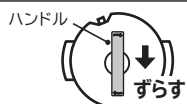


4 コネクタを外す

●チューブをずらし、アダプタ側コネクタの爪を押しながら引き抜いてください。

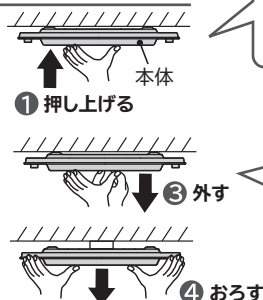


5 ハンドルを「解除」の位置にずらす



6 本体を外す

- ① 本体の中央部分を片手で天井面に押し上げる
- ② 本体を押し上げながら、アダプタのハンドルを右に回し、アダプタの爪から本体が外れることを確認する
- ③ アダプタのハンドルを右に回したまま、ゆっくりと本体を下げ、アダプタから外す
- ④ アダプタから本体が外れたら、ハンドルから手を離し、両手でゆっくり本体をおろす



●器具の取り外しの際は、電源を切る
必ず守る ※電源を切らないと、感電の原因となります。

●消灯直後の器具は熱いので、時間をおいて本体が十分に冷えてから作業する
※やけどの原因となります。

●電線を取り外す際には、配線おさえに触れない
※手をけがする原因となります。

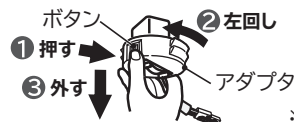
●コネクタを無理に引き抜いたり、電線を引っ張ったりしない
※電線が断線し、感電、故障の原因となります。

●本体が落下しないように確実に本体を押さえながら作業する
必ず守る ※手を離すと本体落下によるけがの原因となります。



アダプタを外す

●ボタンを押しながら左方向に回してください。



●アダプタを無理やり回さない

※角形引掛シーリングなどの破損の原因となります。

※器具の取り付け方は→ (P.3~4)をご参照ください。

お手入れ

●明るく安全にご使用いただくために、定期的にお手入れをしてください。

●器具が虫やほこりなどで汚れたら、乾いた柔らかい布で軽くはたき落としてください。

●汚れが落ちない場合は、柔らかい布を石けんに浸してよく絞ったあと拭き取り、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

※石けんとは天然油脂を原料としたものです。
(商品表示が「石けん」であることを確認してください)

器具取り扱い上のご注意



必ず守る

●お手入れの際は、電源(壁スイッチまたはブレーカ)を切る

※電源を切らないと、感電の原因となります。



禁止

●みがき粉・ベンジンなどの揮発性のもの・合成洗剤・化学ぞうきんで拭いたり殺虫剤をかけたりしない

※割れ、傷、変色および落下によるけがの原因となります。



みがき粉



ベンジン



合成洗剤



化学ぞうきん



殺虫剤



接触禁止

●点灯中および消灯直後は、器具が熱くなっているため、触らない
※やけどの原因となります。

禁止

●カバーを外した状態で点灯したLED光源を直視しない

※目を痛めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。



お困りのときは

●もしこんな現象が起きたときは・・・
故障と思われる前に下の表に従ってお調べください。

このようなときは	ここを確認してください。	直し方	ページ
勝手に消灯した	●おやすみ30分が設定されている	●再度点灯してください。	4
リモコンを操作しても点灯しない	●壁スイッチが OFF になっている	●壁スイッチをONにしてください。	2
	●コネクタがきちんと差し込まれていない	●コネクタを確実に差し込んでください。	3
	●リモコンの乾電池が間違っ入っている	●乾電池を正しく入れてください。	2
	●乾電池が寿命になっている	●新しい乾電池と交換してください。	2
	●器具本体とリモコンのチャンネルが合っていない	●チャンネルを正しく設定してください。	5
	●停電があった	●壁スイッチをOFFにして約10秒待ってから、再度壁スイッチをONにしてください。	—
リモコンを操作しても器具から音がしない	●点灯状態は切り替わるが器具から音がしない	●リモコンで消灯し、壁スイッチがONの状態、リモコンの「暗」ボタンを約10秒間長押ししてください。	4
全灯ボタンを約3秒間長押ししてもチャンネルが切り替わらない	●チャンネル固定モードが有効になっている	●消灯ボタンを10秒間長押し後、10秒以内に「暗ボタン→暗ボタン→常夜灯ボタン」の順に操作し、メモリーボタンを10秒間長押しして、チャンネル固定モードから工場出荷時のチャンネル切替有効モードに切り替えてください。	5
壁スイッチを操作しても点灯しない	●ブレーカが切になっている	●ブレーカを入れてください。	—
	●コネクタがきちんと差し込まれていない	●コネクタを確実に差し込んでください。	3
	●壁スイッチ点灯機能が無効になっている	●消灯ボタンを10秒間長押し後、10秒以内に「暗ボタン→明ボタン→常夜灯ボタン」の順に操作し、メモリーボタンを10秒間長押しして、壁スイッチ点灯機能を有効にしてください。	4
消灯していたが、勝手に点灯したり、点灯状態が勝手に切り替わる	●店頭展示状態（デモモード）に入っている (数秒おきに調光・調色が繰り返され、リモコンで消灯しても、しばらくすると同様の現象が生じる)	●リモコンで消灯ボタンを押して電子音が「ピッ」と鳴ったあと、「ピピピッ」と鳴るまで約10秒間長押ししてください。 常夜灯などを点灯し、約30秒間変化がないことを確認してください。	—
	●停電があった	●リモコンで消灯していても、停電後に電源が復旧した際は、リモコンで消灯する前の状態で点灯します。消灯ボタンを10秒間長押し後、10秒以内に「暗ボタン→明ボタン→常夜灯ボタン」の順に操作し、メモリーボタンを10秒間長押しして、壁スイッチ点灯機能を無効にすることで、停電があった場合でもリモコンで消灯した状態を維持することができます。	4
常夜灯が点灯し、リモコンで操作しても電子音が「ピピピッ」と鳴り切り替わらない	●電源基板の故障です。お買い上げの販売店へご相談ください。 ご不明な点は「ご相談窓口」→ (P.7) にご相談ください。		—

上記の表に従って調べても直らない場合は、お買い上げの販売店などにご相談ください。

※万一、煙が出たり、変な臭いがあるなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。

すぐに電源を切り、異常状態がおさまったことを確認してから、お買い上げの販売店に、器具の型式(本体の器具銘板に表示)と現象を連絡のうえご相談ください。

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

型式	仕様	定格消費電力 (全灯時)	定格電圧	定格周波数	常夜灯点灯時 消費電力	消灯時 待機電力
LEC-AH12RAZ (～12畳)		39.9W	交流 100V	50/60Hz 共用	約1W	1W以下
LEC-AH08RAZ (～8畳)		31.0W				
LEC-AH06RAZ (～6畳)		26.2W				

- この器具はリモコン機能付き器具のため、リモコンで消灯した状態では上記の待機電力を消費しています。
長時間ご使用にならないときは電源（壁スイッチまたはブレーカ）を切り、節電を心がけてください。
ブレーカを切る場合、同一ブレーカに接続されている他の機器の電源も同時に切れますので、ご注意ください。

保証とアフターサービス

保証書

保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間 (お買い上げ日から)	LED光源基板・電源基板：5年 本体（リモコン含む）：1年 詳しくは保証書をご覧ください。
--------------------	---

- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。
--------	--

保証期間が過ぎているときは	修理して使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。
---------------	------------------------------------

使用中に異常が生じたときは

「お困りのときは」→ (P.6) をご確認のあと、それでも故障と思われる場合には、ご自分で修理をなさらないで、お買い上げの販売店にご相談ください。
●修理を依頼されるため、製品を販売店にお持ちの際は、アダプタ、リモコンも一緒にお持ちください。

お知らせいただきたい内容

1. 型式：LEC-AH12RAZなど
2. 症状：できるだけ詳しく

部品について

修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。

転居されるとき

- ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。
- 電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」(下記)にお問い合わせください。

修理料金の仕組み

修理料金＝技術料＋部品代＋出張料などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検



長年ご使用の照明器具の点検を！

ご使用の際
このような
症状はあり
ませんか？

- スイッチが作動しないことがある
- コゲくさい臭いがあることがある
- 異常な音がする
- カサやカバーなどがひび割れた
- その他の異常・故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、電源を切ってお買い上げの販売店にご連絡ください。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。

「ご相談窓口」

この製品の使いかた、お手入れ・修理などは、お買い上げの販売店へご相談ください。

なお、転居や贈答品などで販売店がご不明な場合は下記窓口にご相談ください。
※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口	修理のご依頼や修理に関するご相談窓口
TEL 0120-3121-11 携帯電話 050-3155-1111 (有料) FAX 0120-3121-34 (受付時間)9:00～17:30(月～土)、9:00～17:00(日・祝日) 年末年始は休ませていただきます。	TEL 0120-3121-68 携帯電話 0570-0031-68 (有料) FAX 0120-3121-87 (受付時間)9:00～18:00(月～土)、9:00～17:00(日・祝日)

《発信者番号通知のお願い》「非通知」設定をされているお客様は、はじめに「186」をダイヤルしておかけください。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

部品のご購入は、商品お買い上げの販売店、お近くの日立の家電品取扱店（お取り寄せ）または下記の「パーツショップ」へご依頼ください。
日立の家電消耗品・部品直販「パーツショップ」 <https://parts.hitachi-cm.com/pshop/>

日立LED照明器具保証書 出張修理

HITACHI

※型式 □にチェック	☐ LEC-AH12RAZ ☐ LEC-AH06RAZ	☐ LEC-AH08RAZ
※お客様	お名前 様	
	ご住所 〒	
	電話 ()	
※お買い上げ日		保証期間 (お買い上げ日から)
年 月 日		本体: 1年
		電源基板・LED光源基板: 5年
※販売店	住所・店名	
	電話 ()	

左記の保証期間内に取扱説明書、本体ラベルなどの注意書きに従って正常な使用状態で使用して故障した場合には、本書記載内容に基づき無料修理をお約束するものです。
お買い上げの日から左記の期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、本書をご提示ください。
本書は日本国内のみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

日立家電品のご相談や修理はお買い上げの販売店へ
ご不明な点は下記窓口にご相談ください。
修理のご依頼や修理に関するご相談窓口
TEL 0120-3121-68/FAX 0120-3121-87
商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口
TEL 0120-3121-11/FAX 0120-3121-34
携帯電話 050-3155-1111(有料)

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

記入のない場合、レシートまたはご購入を証明するものが代用となりますので、本保証書といっしょに大切に保管してください。

1. 保証について

- (イ) 本体の保証はリモコンを含みます。ただし、電池などの消耗品やカバーは対象外です。
- (ロ) 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、保証期間の半分とします。

2. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。

- (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
- (ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送などによる故障または損傷。
- (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障または損傷。
- (ニ) 一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用または車両、船舶へのとう載》に使用された場合の故障または損傷。
- (ホ) 本書のご提示がない場合。

(ハ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

(ト) 故障の原因が本機以外にある場合で改善を要するとき。

3. 離島または離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。

4. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。

5. 贈答品などで本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼にならない場合には、取扱説明書→(P.7)に記載されております「ご相談窓口」にご相談ください。

6. 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

7. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または取扱説明書→(P.7)に記載されております「ご相談窓口」にお問い合わせください。

●補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。性能部品とは、器具の機能を維持するために必要な部品です。なお、補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

●お客様にご記入いただいた保証書の個人情報、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますのでご了承ください。

◎日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12 電話 (03)3502-2111

マイページ(日立の家電品お客様サポート)のご案内

ご登録(無料)いただくとスマートフォンやパソコンでお持ちの家電品を一覧管理でき、サポート情報や会員限定の特典などをご利用いただけます。

■家電品の登録 ※マイページへの会員登録が必要です(無料)

① コードを読み取る

- コードが読み取れない場合は、URLを入力して表示される画面の案内に従ってください。

<https://kadenfan.hitachi.co.jp/my/>



日立の家電品
お客様サポート

② 画面の案内に従って家電品を登録



■マイページ会員限定のアフターサービス特典のご紹介

パーツショップ送料特典

付属品や別売品をパーツショップ(日立の家電消耗品・部品直販インターネット販売)で商品価格総額2,000円(税込)以上お買い上げいただくと送料が無料になります。

※代引きの場合は、代引き手数料が別途かかります。

※上記内容は予告なく変更する場合がございます。

●ご利用の際は、通信費などの費用がかかります。

詳しくは、マイページ(日立の家電品お客様サポート)をご覧ください。

◎日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12